

浅田レディースクリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることに同意されない場合は、当院 WEB サイト「当院における研究活動について」から署名をお願い致します。

研究課題名	透明帯に形態異常がみられる卵子の臨床成績と形態異常原因の検討
研究責任者 (研究代表者)	浅田義正
(多機関共同研究の場合) 共同研究機関の責任者	共同研究機関名： 共同研究責任者：
研究の目的	<p>精子は透明帯を通過して卵子に到達し、受精します。受精後、透明帯は硬化し、他の精子の侵入を防ぎます。透明帯は卵子を取り囲む層構造で、通常は均一な厚さを持っていますが、まれに楕円形だったり、厚さが均一でなかったりといった異常が見られることがあります。</p> <p>特に、透明帯がトゲトゲしていたり、二重層状になっていたりする卵子を透明帯形態異常卵子として解析を行っています。これらの卵子の特徴として、卵子と透明帯の間の隙間が狭く、極体の放出が難しく、透明帯が柔らかいことが挙げられます。</p> <p>これらの透明帯の形態異常が不妊治療に与える影響やその原因はまだ明らかになっていません。そこで、私たちは透明帯形態異常卵子の卵子成熟、受精、胚発生、着床、妊娠に対する影響を調べ、これらの異常が不妊治療に与える影響と原因の解明を目的に研究を行います。</p>
研究期間	承認後 ~ 2032 年 3 月 31 日
研究の方法	<p>■対象となる方 2012 年 4 月 1 日～2030 年 12 月 31 日に浅田レディースクリニック(勝川・名古屋・品川)にて高度生殖補助医療による治療を目的に採卵を実施した患者さま</p> <p>■利用する試料 卵子、受精卵</p> <p>■利用する情報 診療録、診療記録</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の期間への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-6-17 名古屋ビルディング 5階 医療法人浅田レディースクリニック 法人部 担当者：衣川智樹 (キヌガワトモキ) TEL： 052-551-2251 Email： t_kinugawa@ivf-asada.jp</p>
<p>備考</p>	